



平成18年7月31日

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

上場会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス 上場取引所 東・大
 コード番号 4188 本社所在地 東京都
 (URL <http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>)
 代表者 役職名 取締役社長 富澤 龍一
 問合せ先責任者 役職名 広報・IR室長 中山 哲也 TEL (03) 6414-4870

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、税金費用の計上基準等、一部簡便的な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

連結及び持分法の適用範囲の異動 連結 (新規) 3社 (除外) 1社
 の有無：有 持分法 (新規) 1社 (除外) 3社

2. 平成19年3月期 第1四半期の業績概況 (平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期 第1四半期	606,282	10.0	29,390	21.8	34,898	16.7	21,796	14.7
平成18年3月期 第1四半期	551,273	10.8	37,573	16.1	41,908	21.0	18,999	16.5
(参考) 平成18年3月期	2,408,945		133,619		143,575		85,569	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成19年3月期 第1四半期	15	90	-	
平成18年3月期 第1四半期	8	72	8	66
(参考) 平成18年3月期	69	51	69	38

(注) をご参照下さい。

(注) 当社の設立は平成17年10月3日ですが、平成18年3月期の連結財務諸表は三菱化学㈱の同期中間連結財務諸表を引き継いで作成しているため、前年同四半期(平成18年3月期第1四半期)欄には、三菱化学㈱の前期連結決算数値を記載して比較しております。
 前年同四半期(平成18年3月期第1四半期)の1株当たり四半期(当期)純利益の算出に当たっては、三菱化学㈱の期中平均株式数(自己株式控除後)が使用されています。
 また、前連結会計年度(平成18年3月期)の1株当たり当期純利益については、中間期の各月末における三菱化学㈱の発行済株式総数(自己株式控除後)に株式移転による当社設立に際しての同社株式に対する当社株式の割当比率を乗じて得られた株式数、及び下半期の各月末における当社の発行済株式総数(自己株式控除後)を用いて算出した期中平均株式数が使用されています。
 なお、前連結会計年度期首に株式移転により当社が設立されたものとみなした場合の、前連結会計年度の1株当たり当期純利益は、65円16銭です。
 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
平成19年3月期 第1四半期	2,114,506		727,258		31.2	481	19	
平成18年3月期 第1四半期	1,991,441		454,356		22.8	209	01	
(参考) 平成18年3月期	2,126,612		656,060		30.9	478	72	

(注) 前年同四半期(平成18年3月期第1四半期)の1株当たり純資産の算出に当たっては、三菱化学㈱の発行済期末株式数が使用されています。
 前年同四半期(平成18年3月期第1四半期)及び前連結会計年度(平成18年3月期)の数値については、開示済みの「株主資本」を「純資産」に、「株主資本比率」を「自己資本比率」に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」に記載しております。

3. 経営成績（連結）の進捗状況、財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

(1) 全般概況

当第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日；以下同じ）の日本経済は、米国・中国経済が好調を継続する中で、生産活動は引続き高水準で推移し、個人消費も増加するなど緩やかに拡大を続けました。

当社グループの事業環境につきましては、国内外の需要は堅調でありましたが、中東情勢の不安定さから原油・ナフサ価格が一段と高騰しており予断を許さぬ状況にあります。

この様な状況下、当社グループの当第1四半期の売上高は、6,063億円（前年同期比550億円増（+10.0%））、営業利益は、294億円、（同82億円減（-21.8%））、経常利益は、349億円（同70億円減（-16.7%））となり、当期純利益は、218億円（同28億円増（+14.7%））となりました。

(2) 部門別の概況

石化セグメント

石油化学部門の基礎素材であるエチレンの生産量は28万トンと、前年との定修規模の差により前年同期を40%上回りました。基礎石化製品・化成品・合成繊維原料・合成樹脂及び機能性ポリマーは、国内外の旺盛な需要に支えられ販売は好調でありましたが、原燃料価格の高騰の影響を受け、またテレフタル酸、エチレングリコール等の市況が厳しい状況で推移しました。

以上の結果、石化セグメントの売上高は、2,760億円（前年同期比352億円増（+14.6%））となりましたが、営業利益は、原燃料価格の値上がりとそれに対応した製品価格是正との間の時間差及び海外市況が弱含みであったこと等により16億円（前年同期比61億円減（-79.7%））となりました。

当第1四半期に石化セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学㈱が、黒崎事業所（福岡県北九州市）において、ポリカーボネート樹脂製造設備の増設（年産6万トン）及び中間原料であるジフェニルカーボネート製造設備の増設（年産10万トン）を決定。（4月）
- 三菱化学㈱が、中国石油化工股份有限公司と共同でポリカーボネート樹脂及びビスフェノールAの製造会社の設立検討を開始。（4月）
- 三菱化学㈱が、水島事業所（岡山県倉敷市）において、オレフィン・アロマセンター競争力強化のための原料多様化対応設備設置を決定。（4月）
- 三菱化学㈱が、鹿島事業所（茨城県神栖市）のメラミン製造設備を2007年3月末に停止することを決定。（4月）
- 日本合成化学工業㈱が、熊本工場（熊本県宇土市）において、光学用ポリビニルアルコールフィルムの生産設備を増設することを決定。（5月）

- 三菱ケミカルパフォーマンスポリマーズ社（米国サウスカロライナ州）が、機能性樹脂コンパウンド設備の増設を決定。（5月）
- 三菱化学(株)が、エクソンモービルケミカル社との間でポリプロピレン樹脂コンパウンド製造販売会社マイテックス・ポリマーズ・ジェネラル・パートナーシップ社（米国インディアナ州）及びマイテックス・ポリマーズ・アジア・パシフィック社（シンガポール）における同社の株式所有分を買い取り、三菱化学(株)100%出資にすることで合意（5月）
- 三菱化学(株)が、PKNオーレン社（ポーランド プロツク市）との間で、高純度テレフタル酸製造技術を同社供与することに合意。（5月）
- 三菱化学(株)が、(株)ジャパンエナジーとの間で検討を進めてきた鹿島石油(株)鹿島製油所（茨城県神栖市）内における石油化学製品生産の合併事業に新たに三菱商事(株)が参画することが決定。（6月）

機能商品セグメント

機能化学事業のうち、情報電子関連製品のDVDは、販売価格は下落したものの販売増により利益は微減に止まりました。OPCドラム・トナーなどのプリンター・コピー機関連材料は、旺盛な需要を背景に増販となりました。食品機能材は、引き続き順調に推移しました。炭素事業は、原料炭在庫の受払差益が減少したこと、及びコークス輸出価格下落により前年に比べ利益は減少しました。

機能材料事業のうち、各種フィルム・複合フィルム・シート製品は、液晶ディスプレイ用保護フィルム向け等中心に好調に推移し、樹脂射出成型品などの情報電子材料及び炭素繊維・アルミナ繊維などの産業資材及び建築材料は、順調に売上げを伸ばしました。

以上の結果、機能商品セグメントの売上高は、2,271億円(前年同期比188億円増(+9.0%))、営業利益は、139億円(前年同期比59億円減(-29.8%))となりました。

当第1四半期に機能商品セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学(株)が、リチウムイオン二次電池用の新規高容量負極材「ICGシリーズ」の製造、販売を開始。（4月）
- 三菱化学メディア(株)が、青色レーザーを用いた次世代DVD（Blu-ray, HD DVD）を日立マクセル(株)と共同開発し、漸次販売を開始。（6月）
- 三菱化学(株)が、四日市事業所（三重県四日市市）において重合トナーの本格生産設備の稼働を開始。（6月）

ヘルスケアセグメント

医薬品は、抗血小板剤「アンプラグ」や脳保護薬「ラジカット注」の販売数量が増加したものの、薬価基準引下げの影響などもあり、売上高は前年同期を下回りました。臨床検査事業・治験検査事業は、順調に推移しました。

以上の結果、ヘルスケアセグメントの売上高は、760 億円(前年同期比 32 億円減(4.0%))と若干減少いたしました。営業利益は、主力製品の販売増と、販売手数料や退職給付費用等販売管理費の減少により 130 億円(同 22 億円増(+20.4%))となりました。

当第 1 四半期にヘルスケアセグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱ウェルファーマ(株)が、本年 10 月を目途に、中国・北京市に医薬品開発を目的とした新会社を設立することを決定。(5 月)
- (株)三菱化学ヤトロンが、血中テオフィリン濃度モニタリング用の簡易測定キット「アキュメータ・テオフィリン」の販売を開始。(6 月)

その他

エンジニアリング部門及び物流部門を中心に各事業とも順調に進捗しており、当第 1 四半期の売上高は、272 億円(前年同期比 42 億円増(+18.0%))、営業利益は、20 億円(同 3 億円増(+18.6%))となりました。

グループ全般

- 当社の連結子会社である三菱化学(株)及び三菱ウェルファーマ(株)から、当社株式を取得することを決定。(4 月)
- 平成 18 年 6 月 28 日開催の定時株主総会において、自己株式の取得のための財源確保を目的とした資本準備金の減少議案が承認。(6 月)
- (株)三菱化学科学技術研究センターが、塗布型の高性能有機半導体材料の開発並びに本材料を用いたトランジスタを使用しての有機 EL 素子の駆動に成功。(5 月)
- 三菱化学(株)と(株)三菱化学科学技術研究センターが、ユニバーサルディスプレイコーポレーション(米国ニュージャージー州)と共同で、塗布型リン光有機 EL 材料を開発することに合意。(5 月)
- 当社の取締役及び執行役員に対して株式報酬型ストックオプションとして新株予約権を割当ててことを決定し、平成 18 年 6 月 28 日開催の定時株主総会において、当該議案が承認。(6 月)

(3) 財政状態(連結)の変動状況

当第 1 四半期末の総資産は、保有株式の時価下落に伴う投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ 121 億円減少し、2 兆 1,145 億円となりました。

4. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

当第 1 四半期の業績は、当初計画した通りに推移しております。従いまして、平成 18 年 5 月 11 日に公表いたしました中間期及び通期の業績予想は見直しておりません。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	1,260,000	56,000	60,000	58,000
通期	2,600,000	136,000	141,000	100,000

(1) 連結損益計算書

(単位: 百万円)

	当第1四半期 (平成18.4.1~平成18.6.30)	前年同四半期 (平成17.4.1~平成17.6.30)	増減	前連結会計年度 (平成17.4.1~平成18.3.31)
売上	606,282	551,273	55,009	2,408,945
売上原価	485,606	420,338	65,268	1,888,535
販売費及び一般管理費	120,676	130,935	10,259	520,410
販売費	24,560	25,633	1,073	101,479
一般管理費	66,726	67,729	1,003	285,312
(販売費及び一般管理費合計)	(91,286)	(93,362)	(2,076)	(386,791)
営業外利益	29,390	37,573	8,183	133,619
受取利息	484	328	156	1,567
受取配当金	2,073	1,612	461	4,440
持分法による投資利益	4,802	3,672	1,130	12,864
為替差益	549	1,768	1,219	6,129
固定資産貸料	912	915	3	3,733
その他	2,072	1,490	582	7,566
(営業外収益合計)	(10,892)	(9,785)	(1,107)	(36,299)
営業外費用				
支払利息	2,937	2,737	200	11,009
固定資産整理損	622	438	184	2,803
出向者労務費差額負担	-	1,022	1,022	4,164
その他	1,825	1,253	572	8,367
(営業外費用合計)	(5,384)	(5,450)	(66)	(26,343)
特別利益	34,898	41,908	7,010	143,575
投資有価証券売却益	4,544	-	4,544	1,936
固定資産売却益	1,303	965	338	2,383
その他	-	-	-	1,586
(特別利益合計)	(5,847)	(965)	(4,882)	(5,905)
特別損失				
早期定年退職一時金	95	-	95	1,905
その他	359	533	174	32,505
(特別損失合計)	(454)	(533)	(79)	(34,410)
税金等調整前四半期(当期)純利益	40,291	42,340	2,049	115,070
税金費用	17,737	19,516	1,779	20,290
少数株主利益	758	3,825	3,067	9,211
四半期(当期)純利益	21,796	18,999	2,797	85,569

(注) 前年同四半期の表示

前年同四半期欄(平成17年4月1日~平成17年6月30日)には、三菱化学株)の前期連結決算数値を記載して比較しております。

(2) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期末 (平成18.6.30)	前連結会計 年度末 (平成18.3.31)	前年同四半期末 (平成17.6.30)		当第1四半期末 (平成18.6.30)	前連結会計 年度末 (平成18.3.31)	前年同四半期末 (平成17.6.30)
流動資産	979,487	988,380	935,713	流動負債	856,557	891,207	893,493
現金及び預金	60,876	65,382	80,413	支払手形及び買掛金	364,232	389,991	325,358
受取手形及び売掛金	475,702	491,905	444,531	短期借入金	199,893	211,001	257,409
たな卸資産	332,383	317,573	301,589	コマーシャルペーパー	22,000	32,000	15,000
その他の貸倒引当金	112,536	115,443	111,537	1年以内償還社債	20,000	30,000	47,254
	2,010	1,923	2,357	賞与引当金	16,191	26,293	15,058
				その他の引当金	11,904	10,856	8,070
				その他	222,337	191,066	225,344
固定資産	1,135,019	1,138,232	1,055,728	固定負債	530,691	510,478	499,244
(有形固定資産)	(694,369)	(686,680)	(680,689)	社債及び転換社債	234,739	234,745	219,962
建物及び構築物	208,738	209,828	216,690	長期借入金	145,471	128,923	149,177
機械装置及び運搬具	231,571	235,673	230,798	退職給付引当金	101,982	100,111	105,295
土地	176,826	178,016	174,302	その他引当金	30,177	29,542	14,649
建設仮勘定	55,199	40,984	36,644	その他	18,322	17,157	10,161
その他	22,035	22,179	22,255	負債合計	1,387,248	1,401,685	1,392,737
(無形固定資産)	(21,473)	(22,145)	(26,537)	株主資本	581,148	570,592	429,989
のれん	6,194	6,651	11,389	資本金	50,000	50,000	145,086
その他	15,279	15,494	15,148	資本剰余金	401,913	412,876	117,109
(投資その他の資産)	(419,177)	(429,407)	(348,502)	利益剰余金	249,411	227,836	168,784
投資有価証券	330,280	344,213	255,422	自己株式	120,176	120,120	990
その他	90,058	86,327	94,390	評価・換算差額等	78,102	85,468	24,367
貸倒引当金	1,161	1,133	1,310	その他有価証券評価差額金	79,265	87,355	37,485
				繰延ヘッジ損益	92	-	-
				土地再評価差額金	1,886	1,886	1,901
				為替換算調整勘定	2,957	3,773	15,019
				新株予約権	256	-	-
				少数株主持分	67,752	68,867	144,348
				純資産合計	727,258	724,927	598,704
資産合計	2,114,506	2,126,612	1,991,441	負債、純資産合計	2,114,506	2,126,612	1,991,441

(注)前年同四半期の表示

前年同四半期欄(平成17年6月30日)には、三菱化学㈱の前期連結決算数値を記載して比較しております。

セグメント別連結売上高及び営業利益

セグメント別連結売上高（外部顧客に対する売上高）（単位：百万円）

	当第1四半期 (平成18.4.1～平成18.6.30)	前年同四半期 (平成17.4.1～平成17.6.30)	増減	前連結会計年度 (平成17.4.1～平成18.3.31)
石化	275,971	240,748	35,223	1,087,357
機能商品	227,152	208,327	18,825	874,702
（機能化学）	(132,108)	(120,635)	(11,473)	(501,511)
（機能材料）	(95,044)	(87,692)	(7,352)	(373,191)
ヘルスケア	76,004	79,183	3,179	312,579
その他	27,155	23,015	4,140	134,307
合計	606,282	551,273	55,009	2,408,945

セグメント別連結営業利益（単位：百万円）

	当第1四半期 (平成18.4.1～平成18.6.30)	前年同四半期 (平成17.4.1～平成17.6.30)	増減	前連結会計年度 (平成17.4.1～平成18.3.31)
石化	1,558	7,663	6,105	33,722
機能商品	13,945	19,851	5,906	65,802
（機能化学）	(9,319)	(15,135)	(5,816)	(43,007)
（機能材料）	(4,626)	(4,716)	(90)	(22,795)
ヘルスケア	12,950	10,753	2,197	36,226
その他	2,005	1,690	315	8,995
コーポレート	1,068	2,384	1,316	11,126
合計	29,390	37,573	8,183	133,619

（注） 前年同四半期欄(平成17年4月1日～平成17年6月30日)には、三菱化学㈱の前期連結決算数値を記載して比較しております。

当四半期より、連結子会社である三菱化学㈱が、重点事業分野をより明確に反映させる組織改正を行ったことに伴い、当社グループの事業セグメントを見直し、一部事業および子会社の所属するセグメントを次のとおり変更しております。

- (1) サービスセグメントをその他セグメントに名称を変更
- (2) 機能性樹脂事業の所属セグメントを機能化学より石化に変更
- (3) 医薬中間体事業の所属セグメントを機能化学よりヘルスケアに変更
- (4) U T T事業の所属セグメントをその他（サービス）より石化に変更
- (5) ヘルスケアの連結子会社1社の所属セグメントをその他に変更

なお、変更後の区分に基づき、前年同四半期・前連結会計年度についても数値の組替を行っております。この変更により、従来の事業区分によった場合に比べて、前年同四半期の売上高は石化セグメントで6,713百万円多く、機能化学セグメントで9,822百万円少なく、ヘルスケアセグメントで6,684百万円多く、その他セグメントで3,575百万円少なく計上されており、また、前年同四半期の営業利益は、石化セグメントで963百万円多く、機能化学セグメントで753百万円少なく、ヘルスケアセグメントで431百万円多く、その他セグメントで641百万円少なく計上されております。

また、前連結会計年度の売上高は、石化セグメントで33,366百万円多く、機能化学セグメントで47,277百万円少なく、ヘルスケアセグメントで32,018百万円多く、その他セグメントで18,107百万円少なく計上されており、また、前連結会計年度の営業利益は、石化セグメントで2,855百万円多く、機能化学セグメントで3,595百万円少なく、ヘルスケアセグメントで2,264百万円多く、その他セグメントで1,524百万円少なく計上されております。

平成19年3月期 第1四半期連結決算概要

平成18年 7月 31日
株式会社三菱ケミカルホールディングス

1. 業績

	当第1四半期		前年同四半期		増減		中間予想 (H18.5.11公表)
	(H18.4.1 - H18.6.30)		(H17.4.1 - H17.6.30)		(%)		
売上高	6,063		5,513	550	10.0%	12,600	
営業利益	294		376	82	21.8%	560	
金融収支	4		8	4		20	
その他営業外	11		14	3		10	
持分法損益	48		37	11		70	
経常利益	349		419	70	16.7%	600	
特別利益	58		10	48		40	
特別損失	4		6	2		50	
少数株主利益	8		38	30		20	
当期純利益	218		190	28	14.7%	580	

注) 前年同四半期の欄には、三菱化学(株)の連結決算数値を記載しております。

2. セグメント別売上高・営業利益

	当第1四半期		前年同四半期		増減		中間予想 (H18.5.11公表)
	(H18.4.1 - H18.6.30)		(H17.4.1 - H17.6.30)		(%)		
売上高	石化	2,760	2,408	352	14.6%	5,960	
	機能商品	2,271	2,083	188	9.0%	4,420	
	(機能化学)	(1,321)	(1,206)	(115)	(9.5%)	(2,560)	
	(機能材料)	(950)	(877)	(73)	(8.4%)	(1,860)	
	ヘルスケア	760	792	32	4.0%	1,550	
	その他	272	230	42	18.0%	670	
	合計	6,063	5,513	550	10.0%	12,600	
営業利益	石化	16	77	61	79.7%	110	
	機能商品	139	198	59	29.8%	290	
	(機能化学)	(93)	(151)	(58)	(38.4%)	(170)	
	(機能材料)	(46)	(47)	(1)	(1.9%)	(120)	
	ヘルスケア	130	108	22	20.4%	180	
	その他	20	17	3	18.6%	30	
	コーポレート	11	24	13	55.2%	50	
合計	294	376	82	21.8%	560		

注) 1 組織改正に伴い、当四半期より機能化学・機能材料を合計して機能商品と表示しております。

2 サービスセグメントの解消により、従来のサービスセグメントに該当する事業をその他と表示しております。

3 組織改正に伴い、一部事業・子会社の所属セグメントを変更しており、前年実績値も組替えております。

3. 比較貸借対照表

借方	当第1四半期末		増減	貸方	当第1四半期末		増減
	前連結会計年度末				前連結会計年度末		
現預金	609	654	45	借入金・CP・社債	6,221	6,366	145
たな卸資産	3,324	3,176	148	営業債務他	7,651	7,651	0
営業債権他	5,862	6,054	192	負債計	13,872	14,017	145
固定資産	7,158	7,088	70	資本金・資本剰余金	4,519	4,629	110
投融資等	4,192	4,294	102	利益剰余金	2,494	2,278	216
				自己株式	1,202	1,201	1
				評価・換算差額等他	784	855	71
				少数株主持分	678	688	10
				純資産計	7,273	7,249	24
資産合計	21,145	21,266	121	負債・純資産合計	21,145	21,266	121
				自己資本比率	31.2%	30.9%	0.3%
D/Eレシオ				有利子負債(含割手)	6,253	6,398	145
= 有利子負債(含割手) / (純資産 - 少数株主持分 - 新株予約権)				D/Eレシオ()	0.95	0.98	0.03

4. 連結範囲

	当第1四半期末		増減
	前連結会計年度末		
連結子会社	170	168	2
持分法適用会社	81	83	2
合計	251	251	0

[参考] 通期業績予想 (平成18年5月11日公表)

	平成19年3月期
	(億円)
売上高	26,000
営業利益	1,360
経常利益	1,410
特別損益	50
当期純利益	1,000